

「2022年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会」

テーマ「医学会におけるダイバーシティの取り組みと課題」

日本公衆衛生学会



発表：業務執行理事 筑波大学 田宮菜奈子

1. 概要

一般社団法人日本公衆衛生学会

1951年 日本公衆衛生学会 発足

2017年 法人化

会員数 9431人(2022年8月末現在)

本学会は、公衆衛生の実践、評価、施策・制度の設計、政策提言に資する活動を進め、学術の発展に貢献することを目的としている。

2017年に法人化し、24委員会の下に、公衆衛生の実践と学術的課題を検討している。直近では、COVID-19のパンデミックに代表される新型感染症への公衆衛生学的な知見の集約と予防・管理対策の策定と実践、人的支援が挙げられる。

中長期的な課題として、**少子超高齢社会における、ライフコースに沿った母子保健、成人保健、高齢者保健にかかわる諸問題への対処と健康格差の縮小に関する研究と実践、出生前から死までの健康関連ビッグデータの構築に向けた政府への働きかけが挙げられる。**

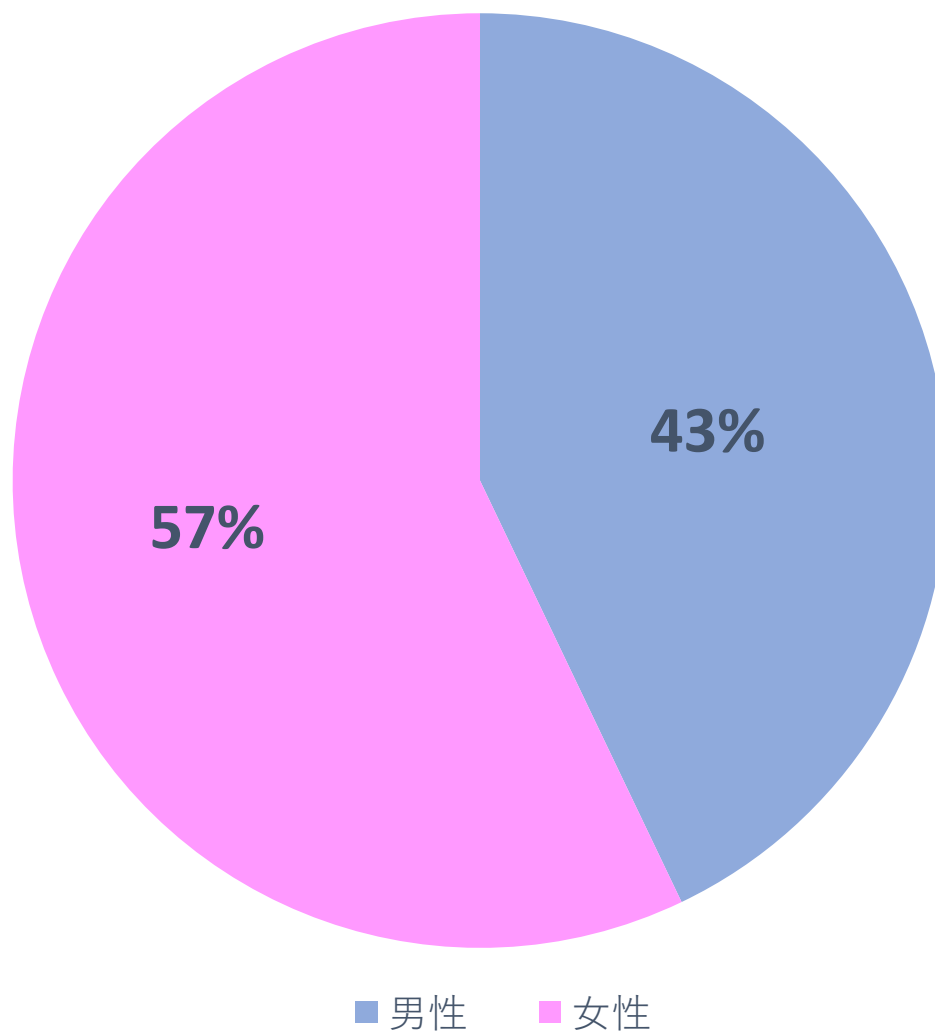
本学会では、自国の公衆衛生のみならず、特にアジア諸国の公衆衛生の貢献の一助とするため、**海外の若手研究者や日本在住の留学生**を対象に、学会総会トラベルグラント制度を2017(平成29)年に創設し、総会の英語口頭発表セッションでの学会員との討論、情報交換を行っている。本学会の国際的な認知度を高めるとともに、将来若手研究者がそれぞれの国の公衆衛生を担う立場になった際の実践学問活動のネットワーク形成に貢献するものと期待される。

2. 役員および奨励賞受賞者の男女別人数および割合

	2017年	2019年	2021年
理事	7/34 (20)	5/35 (14)	8/35 (22)
代議員	80/278 (29)	104/298 (35)	104/292 (36)
監事	0	0	0
奨励賞	0/2	2/4 (50)	1/5 (20)

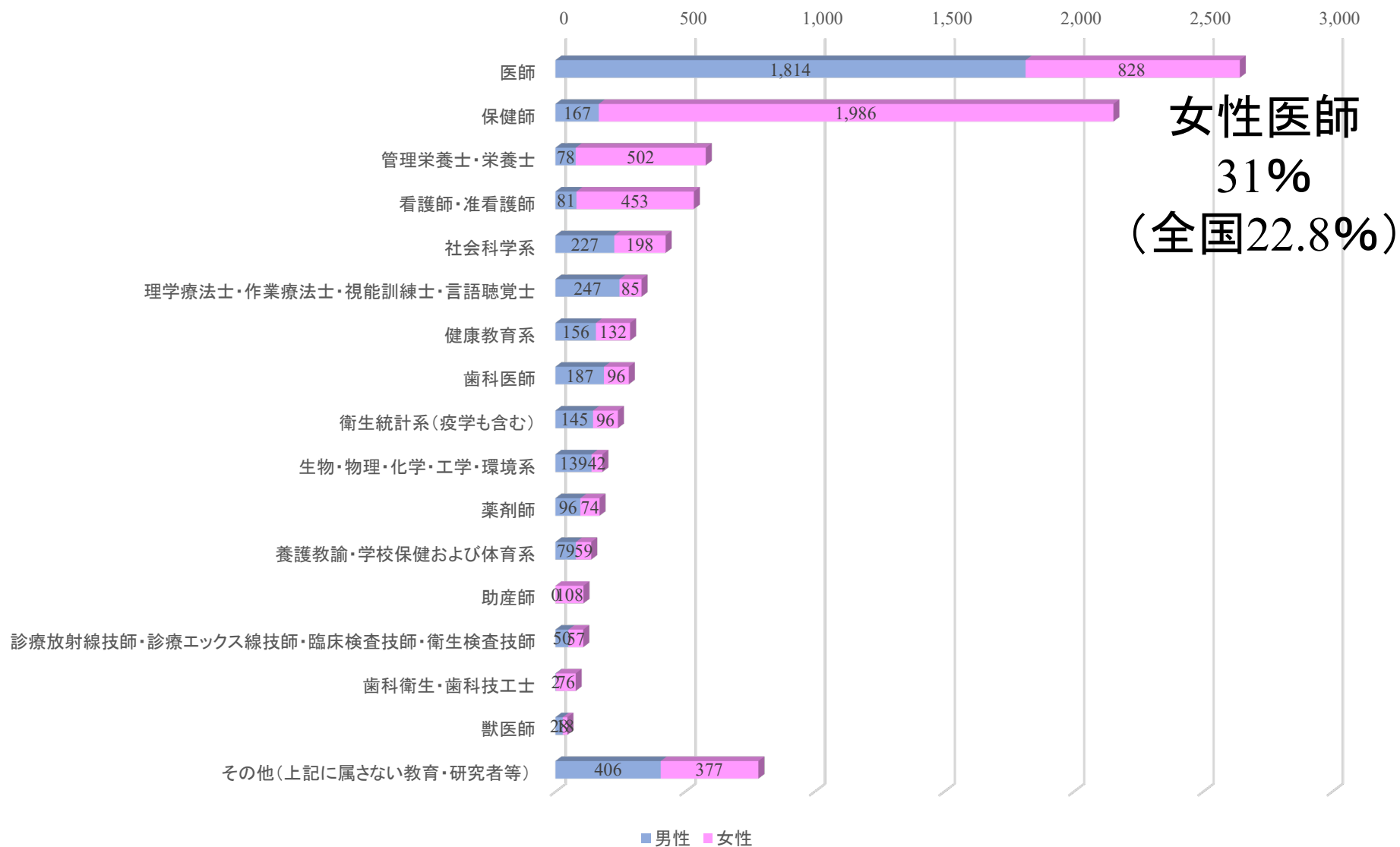
()は女性の割合(%)

3. 会員の男女別人数および割合



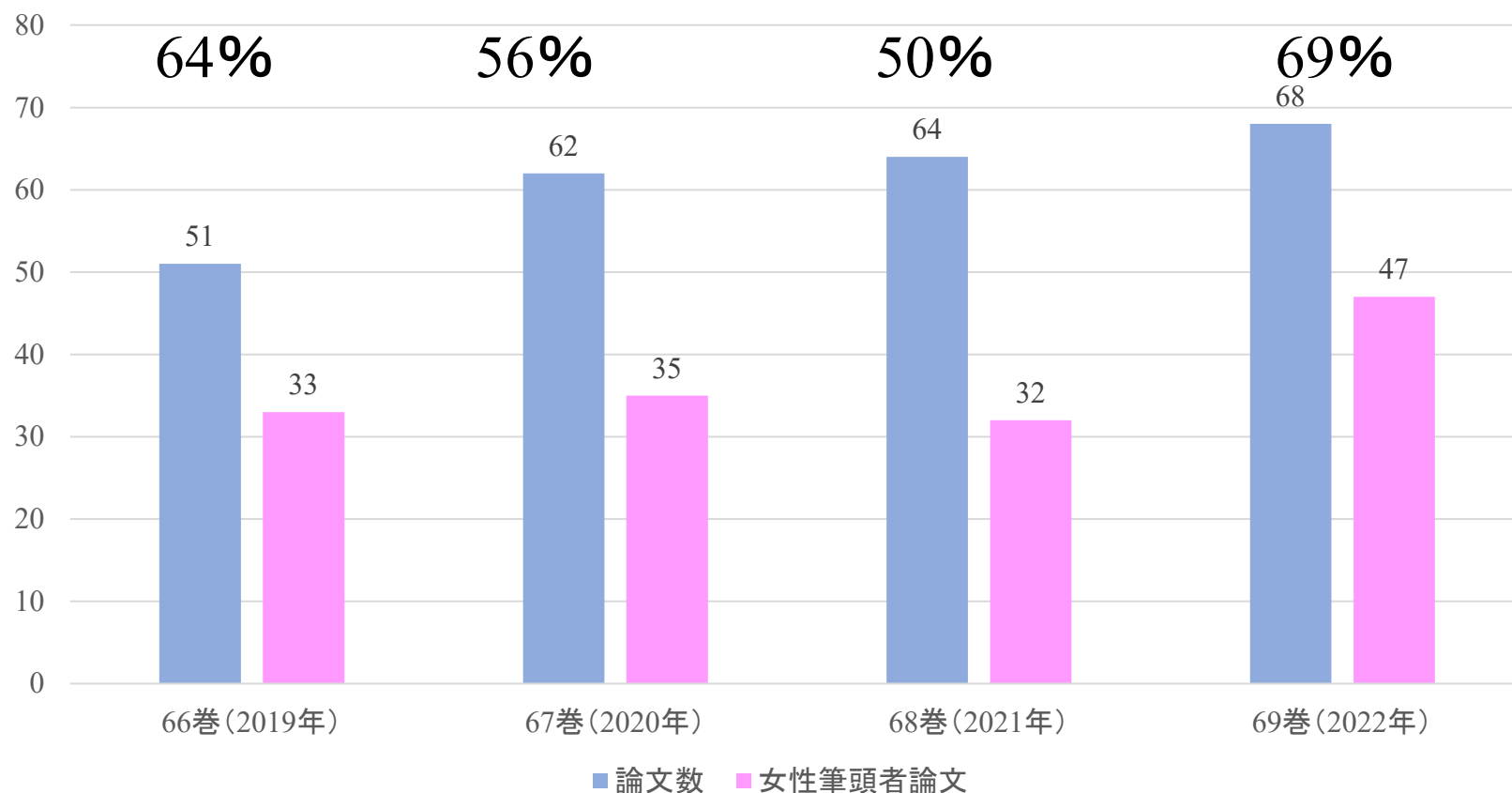
男性4072名 女性5398名(2022年8月現在)

4. 会員の職能別男女別人数



5-1. 論文の掲載状況

機関紙 日本公衆衛生雑誌
掲載論文の推移と女性筆頭著者数・割合



掲載論文は増加。女性主著者の割合は常に半数以上
直近は約7割

5-2. 論文中のキーワード 比較 (2019~)

キーワード	医学中央雑誌	全雑誌の平均 該当論文数	日本公衆衛生雑誌(合計)	女性著者	男性著者
	論文数		論文数	論文数	論文数
介護	2756	3.1	27	14	13
介護 予防	283	1.6	11	4	7
子育て	207	1.4	2	1	1
育児	1291	2.4	3	3	1
家事	99	1.4	1	1	0
母親	632	2.0	5	3	2
父親	135	1.6	2	1	1
合計	5403	-	51	27	25

作成 筑波大学 鈴木愛 + 学会事務局

シソーラスの扱いにより数の変動が多少ある可能性あり



5-3. 論文一覧（男女別）

【女性が筆頭著者の論文】

- ・ 小・中学生の保護者を対象とした「子ども食堂」に関するインターネット 黒谷佳代,他 66巻9号
- ・ 揺さぶられ症候群の予防のための泣きに関する教育的動画の視聴効果:乳児期の子どもをもつ親を対象とした介入 伊角彩,他 66巻11号
- ・ 幼児を持つ親の家族エンパワメント尺度の開発 佐藤美樹,他 67巻2号
- ・ 子どものう蝕に対する保護者の消極的受診態度に関する要因の探索的研究 井上裕子,他 67巻4号
- ・ 妊娠期の母体喫煙と受動喫煙, 生後の受動喫煙と子の喘息およびアトピー性皮膚炎罹患との関連:神戸市母子保健情報による疫学研究 吉田都美,他 68巻10号
- ・ 母親の職種と出産後1年時までの児の死亡の関連:人口動態職業・産業別調査データより 鈴木有佳,他 68巻10号
- ・ 東京都子どもを受動喫煙から守る条例の家庭における喫煙ルールに対する影響の評価 梅木佑夏,他 68巻12号
- ・ 酸素療法, 夜間ケアを必要とする障害児の母親の睡眠と心の健康 笹井佐和子,他 69巻4号
- ・ 幼い子をもつ母親のコロナ禍の心理的苦痛とその関連要因:子の育てにくさ, 発達不安, ソーシャルサポートおよび受援力に焦点をあて 木村美也子,他 69巻4号
- ・ 就労女性における就労形態別の労働要因および社会経済要因と受診抑制の関連 中川栄利子,他 69巻6号
- ・ 病院に勤務する看護師のワーク・エンゲイジメントと組織公平性との関連 松岡昌子,他 69巻8号
- ・ 幼児の父親の育児および家事における実施状況とその関連要因 高瀬寛子,他 69巻10号
- ・ 住民主体の通いの場における参加者の役割の違いによる課題認識と心理社会的健康の関連:横断研究 江尻愛美,他 69巻10号
- ・ 子ども期における親への援助要請および地域交流の経験と成人期の対人関係の関連 中村有里,他 69巻11号

【男性が筆頭著者の論文】

- ・ 父親の育児参加が母親, 子ども, 父親自身に与える影響に関する文献レビュー 加藤承彦,他 69巻5号
- ・ ヤングケアラーの精神的苦痛:埼玉県立高校の生徒を対象とした質問紙調査 宮川雅充,他69巻2号
- ・ ヤングケアラーの生活満足感および主観的健康感:大阪府立高校の生徒を対象とした質問紙調査 宮川雅充,他 68巻3号
- ・ 日本人女性における就業状況別での婚姻・出生率の年齢・時代・コホート分析 奥井佑 67巻12号
- ・ 子育て期の女性における認知的失敗尺度日本語版の開発 岩佐一, 67巻1号
- ・ 医療機関で用いる患者の生活困窮評価尺度の開発 西岡大輔,他 67巻7号
- ・ 国際保健人材の育成のための望ましいキャリアパスとその支援に関する調査 町田宗仁,他 67巻7号

まとめ 社会医学の学会としてダイバーシティは重要課題

- 学会員構成は女性が57%
- **学会誌主著者における女性は69%！**
- 介護・母親などのキーワード論文が他学会より多い
- 男性著者からも上記のキーワード論文あり
- 幅広い社会課題についての論文を掲載
- 委員会活動も、ライフコースに渡る支援、外国人支援を意識
- 学会参加も若手や留学生を支援
- 役員や理事の女性数にはまだ課題あり